

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

| | |
|-----|-------------|
| 学校名 | 伊勢原市立伊勢原小学校 |
|-----|-------------|

1 調査結果の分析及び考察

| | 特長 | 課題 |
|-----|---|---|
| 国語 | <p>【A問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じ、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことや、慣用句の意味を理解し、使うことはできている。 <p>【B問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることは、おおむねできている。 | <p>【A問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文中における主語と述語との関係などに注意して、文章を正しく書くことや、漢字を文中で正しく使うこと。 <p>【B問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることや、目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くこと。 |
| 算数 | <p>【A問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・180°の角の大きさは、理解できている。 ・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方は、おおむね理解できている。 <p>【B問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることは、おおむねできている。 | <p>【A問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数の除法の意味と、円周率の意味についての理解。 <p>【B問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の観点で示された情報とグラフを関連付けて解釈し、表現することや、グラフの特徴を理解し、複数のグラフから読み取れることを、適切に判断すること。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・海水と水道水を区別するために、2つの実験方法から得られた実験結果を分析して考察することができている。 ・野鳥のひなの様子を観察するために、安全に留意し、生物を愛護する態度をもって観察方法を構想することができている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述すること。 ・実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること。 |
| 質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、同じ時刻に起床する児童が多く、ほとんどの児童が、朝食を食べている。 ・宿題をほとんどの児童が行ってくる。 ・自己肯定感が高く、将来の夢や目標をもっている児童が多い。 ・算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと考え、算数の勉強は大切だと考えている児童がほとんどである。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発表する機会に、自分の考えがうまく伝わるように、工夫して説明したり発表したりすること。 ・1日あたりの読書時間に差があり、全く読書をしない児童がいること。 ・家庭で、積極的に学習に取り組むこと。 ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る児童は多いが新聞を読む児童が少ないこと。 |

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

| |
|---|
| <p>◎基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ることを目指した指導計画を立てていく。</p> <p>◎「主体的・対話的な深い学び」の実現に向け、発問や指示を厳選し、児童が考えたり書いたり発表したりする時間を確保し、友達と考えを深め合う機会を設けていく。</p> <p>【国語】○言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動、辞書の活用、作文指導、発表活動等に積極的に取り組み、児童の言語能力の育成に努めていく。 <p>【算数】○学年間の指導内容の系統性を踏まえた反復指導の徹底と算数的活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数学的な見方・考え方」を働かせながら、知識及び技能の習得を図り、それを活用して探究する活動を重視していく。 <p>【理科】○主体的問題解決活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自らが、自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせて、見通しを持って観察、実験をする機会を設けていく。 |
|---|

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

| |
|---|
| <p>日頃より、児童の健康管理と規則正しい生活リズムづくりにご協力いただき、感謝申し上げます。本校児童は、ほとんどの児童が宿題を行ってきます。これもご家庭の方のご協力のおかげと感謝しております。今後は、自主的・継続的に家庭学習に取り組むことが習慣化されるように指導して参ります。更なる声かけをお願いします。</p> <p>また、学校では、学習や生活の基盤となる言語能力の育成を図っていきたくと考えます。語彙を増やし語彙力を高める手立ての一つとして、読書活動は大変有効です。本校では、保護者の方に読み聞かせボランティアとして来校いただき、児童も大変楽しみにしています。学校でも朝の読書タイムや図書室の計画的活用の充実を図り、読書に親しむ時間を設けていきます。ご家庭でも日常的に読書に親しむ時間や機会を設けていただきたいと思います。</p> <p>スマートフォンの普及などにより、インターネットの利用におけるトラブルが社会で問題視されています。本校でもインターネットを利用している児童がいますので、どのように利用するかご家庭で話し合う機会を設けていただくと幸いです。</p> |
|---|